

平成30年度
東京都自立支援協議会交流会
武蔵野市地域自立支援協議会
実践例

武蔵野市地域自立支援協議会会長
岩本 操 2018/08/28

武蔵野市地域自立支援協議会の経緯

H20年度 自立支援協議会設立：親会議＋3部会（はたらく、くらす、防災）

H21年度 親会議＋3部会（はたらく、くらす、権利擁護）

H22年度 協議会**全体テーマを設定**

武蔵野市の「地域課題」を見つけ、具体的に解決・改善していく
～“こんながあると良いな”を形にしよう～

親会議＋5部会（はたらく、くらす、権利擁護、**相談支援、障害当事者**）

H23年度 **障害当事者部会の代表を親会議や各専門部会に派遣**

拡大親会議（親会委員＋専門部会正副部会長）を開催

H26年度 親会議が「**障害者計画・障害福祉計画**」策定委員会の機能を併せ持つ

H27年度 **新たな全体テーマの設定、計画の推進主体（PDCA機能）**

市民として、市民とともに、誰もが暮らしやすい武蔵野市を目指す
～出会い、分かち合い、支え合う関係を広げていこう～

親会議委員の拡充（市民公募・社協・民生委員・法律家）

H28年度 全体テーマの継承、専門部会活動の継承発展

H29年度 **「障害者計画・第5期障害福祉計画」の策定**＋専門部会の活動継承・発展

H30年度 計画の推進主体（PDCA）＋専門部会の活動継承・発展＋新たな課題

親会議にて「自立支援協議会」の役割・機能の再考

武蔵野市地域自立支援協議会の特徴

1. 全体テーマ(理念)の設定と共有

【平成22年度】

武蔵野市の「地域課題」を見つけ、具体的に解決・改善していく
～“こんなのあると良いな”を形にしよう～

【平成27年度】

市民として、市民とともに、誰もが暮らしやすい武蔵野市を目指す
～出会い、分かち合い、支え合う関係を広げていこう～

2. 障害者計画・障害福祉計画策定委員を 兼ねる(計画のPDCA機能)

3. 障害当事者部会の重要な役割

協議から活動への展開(例)

<はたらく部会>

職場実習の試行・普及啓発, 職場ニーズ調査(アンケート),
職場の困りごとQ&A事例集の作成・普及

<くらす部会>

「移動支援ハンドブック」「おくすり手帳ひとことシール」作成,
「ヘルプカード」作成・普及啓発

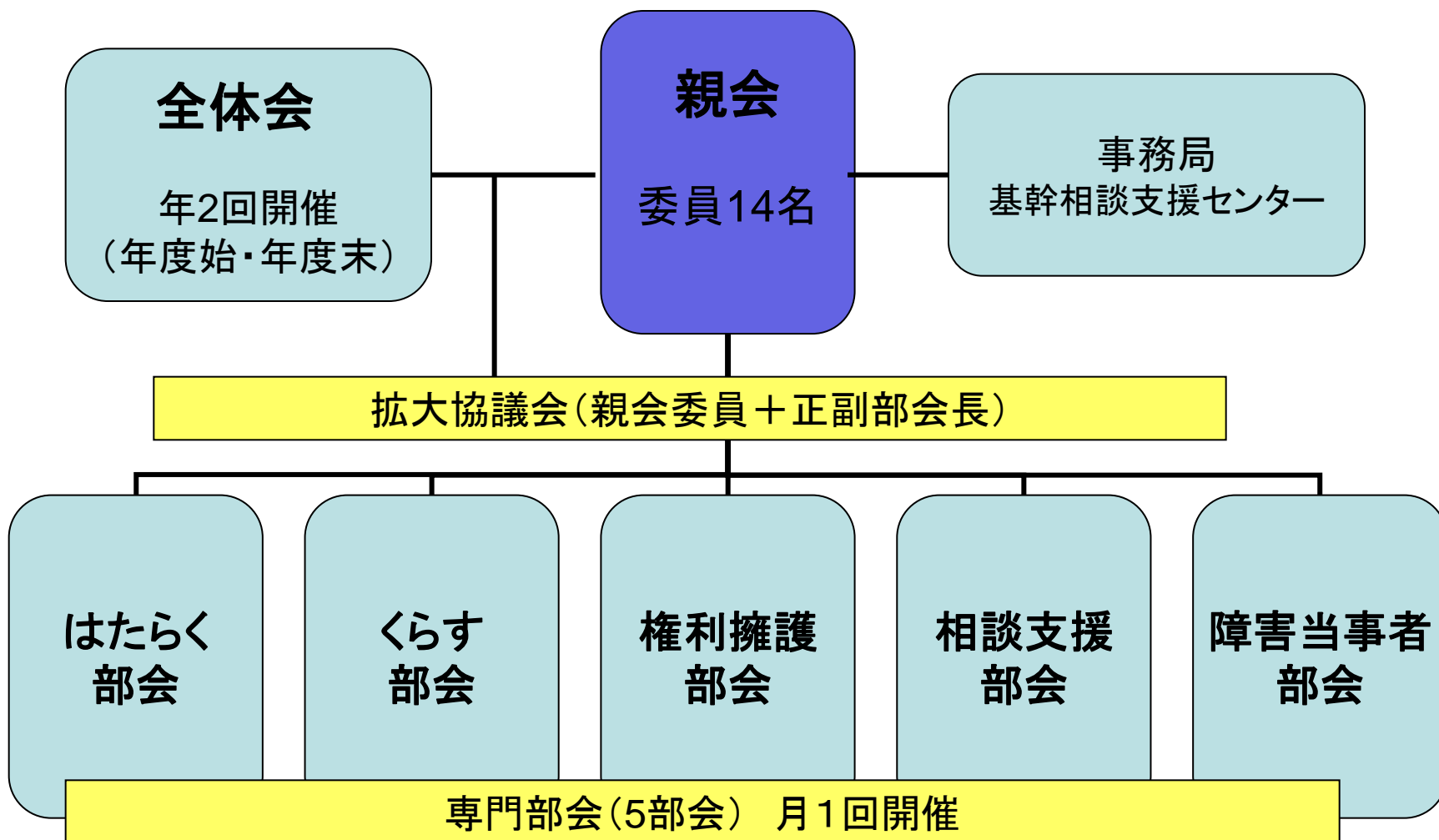
<権利擁護部会>

普及啓発(市民セミナー, 支援者研修), 支援者セルフチェック
リスト作成, 虐待リスクアセスメントシート活用, 地域住民と当事
者との「座談会」企画実施

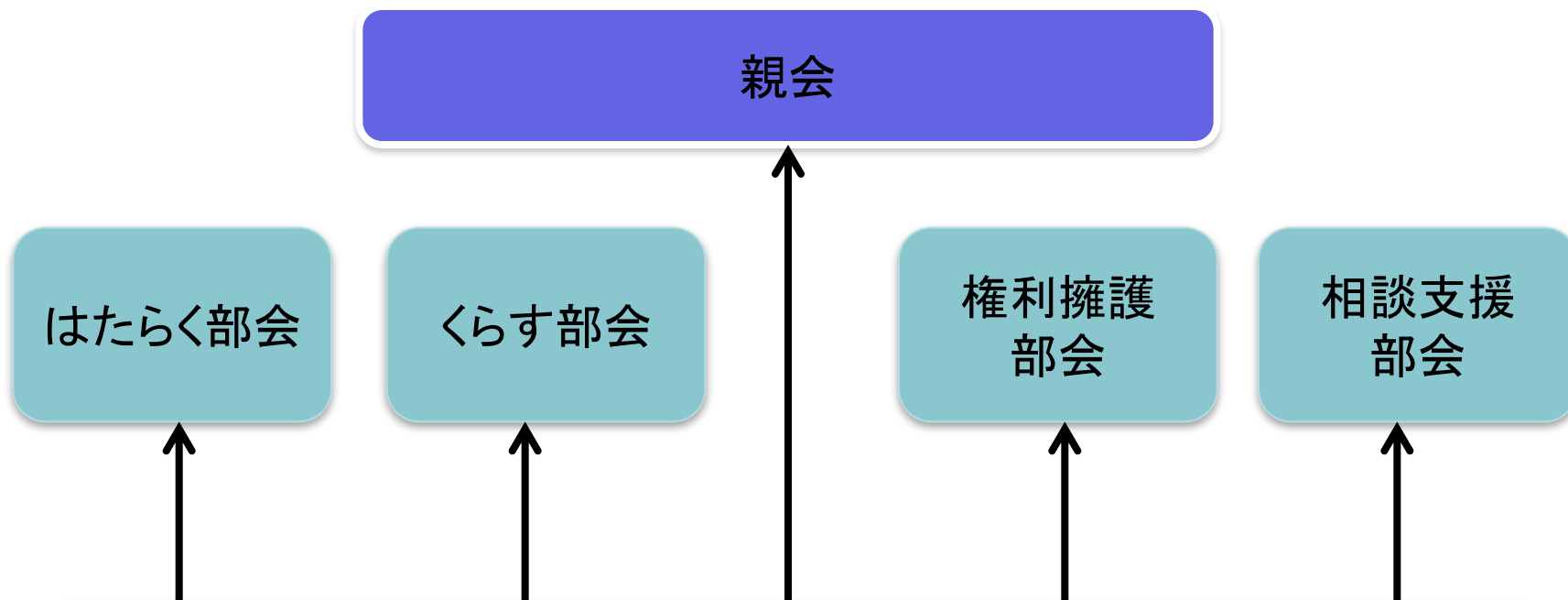
<相談支援部会>

「相談支援専門員ガイドライン」の作成, 連絡会の運営

武蔵野市地域自立支援協議会の構成(現在)



障害当事者部会の位置づけ

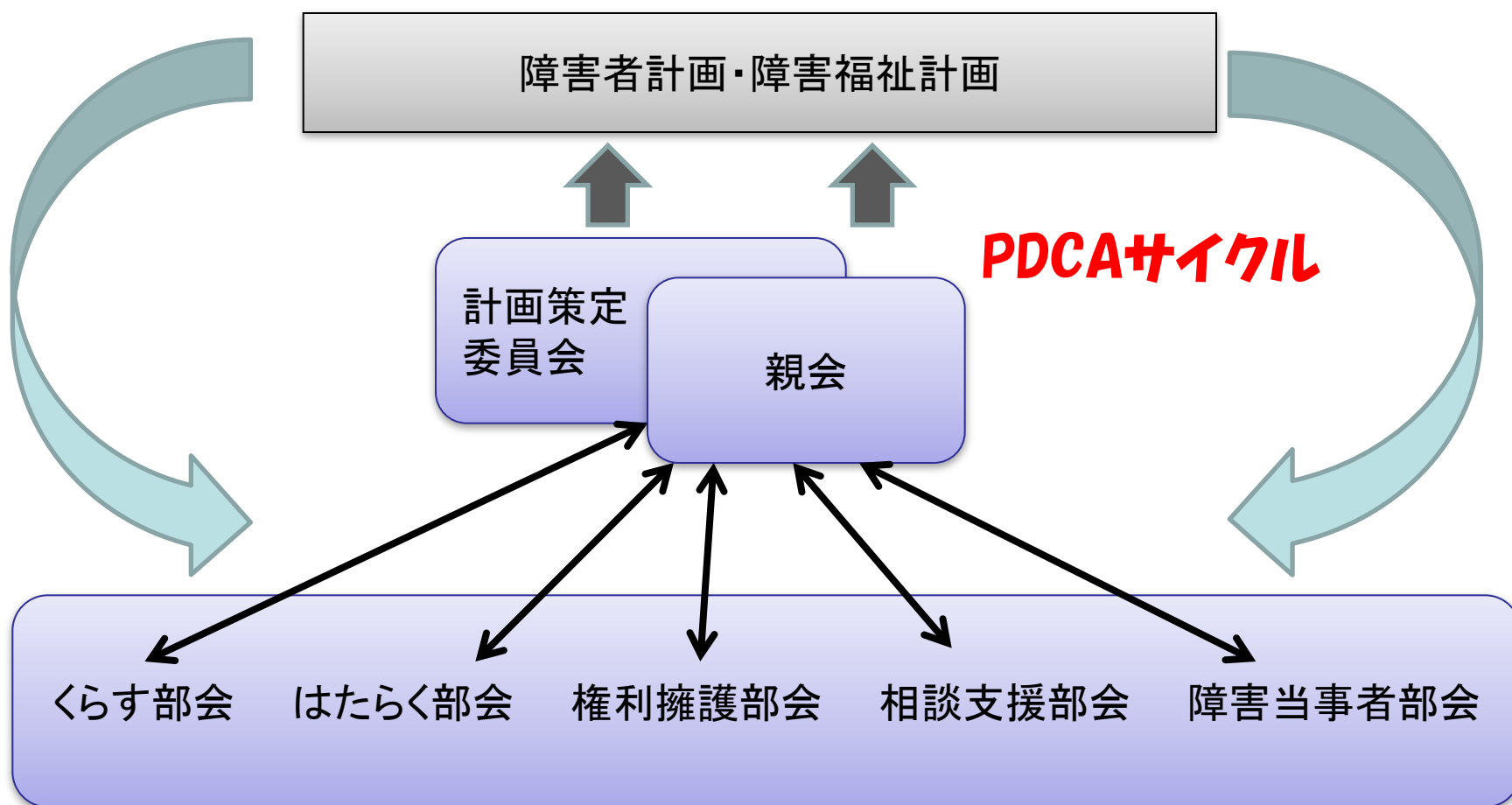


障害当事者部会：広報・宣伝を通じて幅広く参加者を募集

<月1回の定例会> 様々なトピックスについて協議

【例】市内のトイレ調査, 防災館見学, 模擬選挙の企画・開催
「しゃべろう会」開催、65歳問題

障害者計画・障害福祉計画策定

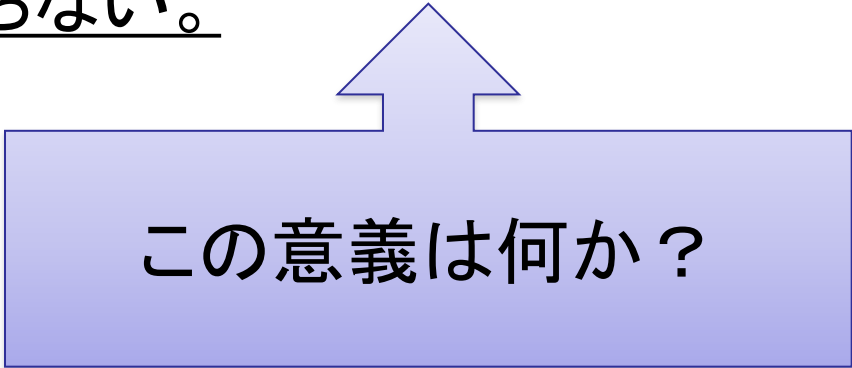


武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画より

障害者総合支援法における 計画策定と「協議会」の関係

(市町村障害福祉計画)

- **第88条の8** 市町村は、第八十九条の三第一項に規定する協議会（以下この項及び第八十九条第六項において「協議会」という。）を設置したときは、市町村障害福祉計画を定め、又は変更しようとする場合において、あらかじめ、協議会の意見を聴くよう努めなければならない。

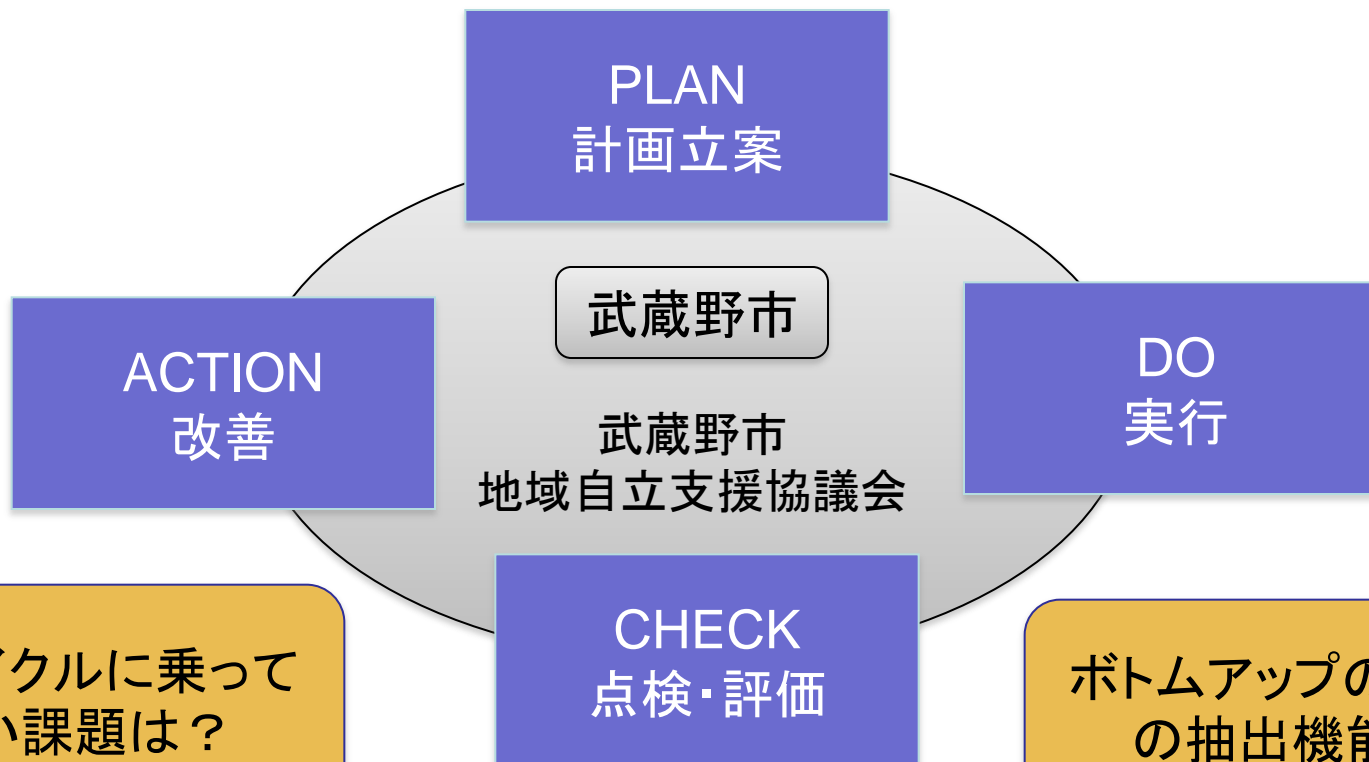


この意義は何か？

協議会活動の手応えと課題

武蔵野市

障害者計画・第4期障害福祉計画より



改めて問う・・・自立支援協議会の役割とは？